

寺 報

龍正寺

日なた 86号



<平成27年7月>

宝龍会
護持会

住職一言

お盆を迎える月に なりました。(7月盆の方・8月盆の方)とありますが、当工では、7月盆で行います。お盆は各御家庭の御先祖様(祖父・祖母・父・母)が帰ってこられる時です、色々な迎え方がありますが各御家庭の思いで迎えられ一心に供養される事が大切かと思っております。

盆は 7月・8月も 13日が迎え盆、16日が送り盆です地域によっては、ことなる事があります。

『相手の気持になって、物事を考え行動する人は仏心なり』

この世に生れた私たちは、この言葉の様に存れないです。自分自身の思いや考え方をそのまま相手に言ったり、行動をしてしまひ、いやな思いや雰囲気になる事、多いと思っております。相手の気持になって言葉をかけたり、行動をしてみると円満、笑顔が出来てくると思っております。自分自身も楽になれる、色々な魔に入らなくなると思います。

日蓮大聖人御遺文、聖人御難事云く

『月月日日にっより給へ。すこしもたゆむ心あらば
魔たよりをうべし』

月ごとと日ごとに信心を強くしていきなさい、信心が弱くな
って怠情な心が起るとすぐ魔がつけ狙ってくる
お盆の供養も同じです、亡き人の事を思い気持になれば
一心供養する事が出来、亡き人も喜んで下さる事でしょう
各御家庭の中でも同様だと思ひます、主人・妻・子供、
各々が相手の立場になり、行動したり、考えたり、言葉にしたり
する事によって明るい円満な家族になり、回りからも
親しまれる様になるでしょう、自分自身も色々な魔から
ぬけられ健康な心になり毎日が楽しくなってくる
でしょう。

私も僧侶でありながら、毎日精進いたし仏祖三寶
に読誦・祈りいたしております。

皆様様の御健康さらに世界の平和、国土安穩を
常に願っております。

合掌

我が子のおかげで

子どもを授かってから色々な方との御縁が多くなりました。私はこの御縁の全てが、我が子からのプレゼントだと思っています。

それは、結婚して、見知らぬ土地に住み、近所の御年配女性の方に挨拶をしても、返してもらえず、心、淋しい思いをしました。しかし、この1年間は会えば、挨拶をしてきました。最近、会釈をしてくれるようになりました。

そして、不思議な事に、私のお腹が大きくなり、見るからに妊婦とわかる姿になると、その人から「いつ産まれるの?」と声をかけられ、少し言葉を交わし色々な会話をするようになりました。ムートでは、ずっと会釈で終わってしまう関係だったと思います。この子のおかげで、私に新たな出会いが出来ました。

その後もスーパーに行くレジの方が、声をかけてくれたり、スーパーのかごをレジの人が台まで、持って行ってくれたり、不思議とその場限りでも色々な方々と会話する事が多くなりました。

そして、手を合わせることにより、御系縁を頂いた方々に
心から感謝できるようになりました。その思いは日々
増えています。

日蓮様 鬼子母神様が私にこの子を授けて下さり。

私は色々な人との出会いを頂きました。

この子を授けられたことに心より感謝し、

大切に育てていこうと思います。

心の扉を開放して得るもの

人は、それぞれに執着すること、考えることは偏ることがあります。

柳井のごとくに、心が動いてくれれば人生どれだけ楽になるか、思いが強すぎると自分の殻にどんどん入っていく。

でも、自分がその殻の中に入っていることは、気がつかないものなのです。

私もその殻をとることが大変でした。

この殻というのは、自分の 我 です。

私が、私が、このが (イコール) 我です。

お上人より、何か注意を受けるたびに、自分の我が出ていたため、何で一生懸命しているのに言われなくてはいけないのか、その怒りで涙し、時には、あいつもせめて帰るということをしていました。

今は安心感から、心が安定し、物事への対応で我が出てくることは少なくなってきました。

自分がしているという気持ちと、
「させてもらっている」という
気持ちの持ち方ひとつでも、
行動の仕方、言葉への
表し方が違ってきます。

お寺で奉仕させていたことで
気づかせてもらえました。

ひとつひとつの扉を開けて、
成長している人ばかりと、
本当に感じながら日々
過ごしています。

南無妙法蓮華経。

わが家の宝物

岐阜市立木之本小学校PTA会長 田邊 忠久



わが家の宝物は、子どもの成長です。
現在六年生の娘で来年、卒業です。
早いものですね。

先日、家庭訪問で担任の先生から六年生でがんばりたいことこんな自分になりたいという娘が書いたプリントを見せていただきました。

そこには、「これからは、学校が良くなる事を進んでやってみたいです。」と書いてありました。

自分のことだけではなく、公のために良くなる事を進んでほしいという娘の言葉に、とても嬉しく素晴らしい成長した姿を誇らしく思います。

私も毎朝、校門で見まもり隊として木之本小学校の子どもたちの成長を見守っています。

わが家の宝物は娘の成長です。
私の宝物は木之本小学校の子どもたちの成長です。

私のこの思いが娘に伝わり、成長していく。そんな姿が楽しみです。

そして、宝物を見まもり、育てて頂いたみなさんに感謝です。
ありがとうございます。



岐阜県PTA、わが子のあゆみ7月号より
わが家の宝物のコーナーの記事です
(御本人様の許可をえて採用させて頂きました。)
当山の檀家です

〜 鬼子母尊神様に見守られて 〜

娘は結婚した時から子供が授かりたいと、鬼子母尊神様に手をあわせていました。妊娠してからは、夫婦で出来る限り参拝していました。

私も娘の安産成就を祈る日々でした。

産み月になり、赤ちゃんが納まる位置に来ていないと言われ、医師の指導を受けて努力していましたが、子宮口が狭く帝王切開になる事になりました。

初めての出産の上に、初めて体にメスを入れるのは、娘にとっても大変な不安がありました。しかし、どこか他人事のような娘の姿に、心配と母親としての自覚が足りないように思えて、強く忠告しました。

娘も何かに気づかさせて頂けたのか、一生懸命に手を合わせるようになりました。

手術の日が決まり、それまでは陣痛が起きる準備をしていましたが、今度は手術日までに陣痛が来ると、緊急帝王切開になるので慎重な生活になりました。

親子で、お寺へ参拝した時でした。

私は鬼子母尊神様に陀羅尼品を上げ始めると、娘が廊下を走った気がしました。“何かあった!”と思いました。お経が終わり、娘に“どうしたの?”と聞くと、腹部に痛みを感じて、御上人さんにお腹をさすって頂いたら、急に何か破裂したような感じがしたと言いました。“あっ!破水だ!!”すぐに病院へ連絡すると、緊急帝王切開になり、3時間30分後元気な男の子が誕生しました。

手術後、医師から危なかつたよ!!陣痛が来ていたから、赤ちゃんが強く押されて、首がくしゃと曲がってしまっていました。母体も子宮口がかなり圧迫されて炎症していました。

“でも、安心して下さい。母子共に健康です。

この話を聞いて、血の気がひきました。もし、破水せず、陣痛が気にならなかつたら、母子共にどうなっていたでしょうか。

鬼子母尊神様のおかげ様で助けて頂きました。

その後は、順調に回復して退院の日を迎えました。

その日は 18日 鬼子母尊神様のご縁日でした。

病院を後にして、皆まで寺院へ直行しました。産んで初めての参拜日か、"鬼子母尊神様の日" でした。

日蓮大聖人様・鬼子母尊神様に心からの報恩感謝を捧げました。

その日はそれだけではありませんでした。

自宅へ帰った途端、思わぬご縁で娘が"我が子の実印を作る事にしたよ、"我が子への初めてのプレゼント、"と若天婦が我が子の幸せを願い大きな買い物をしました。

きっと、この鬼子母尊神様のご縁日に購入する実印は我が孫の大切な御守りになる事でしょう。

産れた時からのこのご縁を大事にしてほしいと願うばかりです。・・・南無妙法蓮華経・・・

<7月の行事予定>

7月12日(日) 午後1時より

盂蘭盆施餓鬼会

宗祖日蓮聖人報恩会

18日(土) 午前10時より

鬼子母尊神
七面大明神) 祈禱会

<7月住職の予定>

盆の月でありますので

寺院にて法務に専念いたします

<7月の予定>

7月1日(水)

各々の時間で"

清掃、準備活動

↓

↓

↓

11日(土)

午前10時より

飾り付け

13日(月)

各々の時間で"

清掃、準備活動

↓

↓

↓

17日(金)